

「市制 103 周年」(7/1) 竜美ヶ丘のある「丘」陵の出「崎」



「岡崎」という地名は、もともとは中世に明大寺町にあったとされる明大寺城や矢作宿が、竜美ヶ丘のある「丘」陵の出「崎」にあったことから名付けられたものとされる。その後、西郷氏により明大寺から菅生郷に城が移され、岡崎という地名が拡張されて用いられるようになったものと考えられる。初めて岡崎という地名が確認できるのは、1484年作成の上宮寺「門徒次第之事」にある「オカサキ」との記述である。『三河国名所図会』には、「岡崎は享祿(1528年-1531年)以来の名號にして、其以前は菅生郷なり」と記載されているため、1524年(大永4年)に松平清康が龍頭山砦を占拠後、砦を拡張整備し岡崎城と命名して、松平宗家の本城として以降と思われる。 「岡崎市史」より

「岡崎」という地名は、もともとは中世に明大寺町にあったとされる明大寺城や矢作宿が、竜美ヶ丘のある「丘」陵の出「崎」にあったことから名付けられたものとされる。その後、西郷氏により明大寺から菅生郷に城が移され、岡崎という地名が拡張されて用いられるようになったものと考えられる。初めて岡崎という地名が確認できるのは、1484年作成の上宮寺「門徒次第之事」にある「オカサキ」との記述である。『三河国名所図会』には、「岡崎は享祿(1528年-1531年)以来の名號にして、其以前は菅生郷なり」と記載されているため、1524年(大永4年)に松平清康が龍頭山砦を占拠後、砦を拡張整備し岡崎城と命名して、松平宗家の本城として以降と思われる。 「岡崎市史」より

戦国時代	1524年(大永04年)	- 松平清康、龍頭山砦「岡崎城」入城
	1542年(天文11年)	- 「徳川家康誕生」(岡崎城) 「小豆坂の戦い」
	1601年(慶長06年)	- 「東海道五十三次」(岡崎宿・藤川宿)設置
江戸時代	1615年(元和元年)	- 「岡崎藩」成立
明治・大正	1916年(大正05年)	- 「岡崎市」市制施行(県下3番目、全国67番目)
昭和・平成	1945年(昭和20年)	- 「三河地震」(死者29人) 「岡崎空襲」(死者280名)
	1950年(昭和25年)	- 第1回「岡崎市民駅伝競走大会」開催
	1955年(昭和30年)	- 「常磐村」編入 第1回「家康まつり」(家康行列)開催
	1959年(昭和34年)	- 「岡崎城(天守閣)」復興 「伊勢湾台風」(死者27名)
	1962年(昭和37年)	- 路面電車「名鉄岡崎市内線」全線廃止
	1963年(昭和38年)	- 「岡崎博-花と産業科学大博覧会-」開幕
	1964年(昭和39年)	- 第1回「造形おかざきっ子展」(籠田公園)開催
	1967年(昭和42年)	- 「岡崎市民会館」竣工
	1968年(昭和43年)	- 「東名高速道路」(岡崎インター)開通
	1975年(昭和50年)	- 「分子科学研究所」設立
	1987年(昭和62年)	- 市制70周年記念事業「葵博 岡崎'87」開幕
	1991年(平成03年)	- 「岡崎中央総合公園」開園
	2003年(平成15年)	- 「中核市」移行(県下3番目、全国31番目)
	2006年(平成18年)	- 「額田町」編入
	2008年(平成20年)	- 「平成20年8月末豪雨」「岡崎市図書館交流プラザ」開館
	2016年(平成28年)	- 「新東名(岡崎東インター・岡崎サービスエリア)」開始